



ふじこし通信

～人・コミュニケーション～

2011年3月
第73号

発行所：
㈲不二越総合保険事務所
発行人：石井広美

る商発感な込は回所ヒわわ毛るし多掘す以のう博多
町人もじくみま目は、明されり利1てをを。上。地多
へが現まアをさだ変こ治てれ立・5き手で。都。市名が
と緒進。アを感じ九うりま2現す。替わ・7たれか博を。良
えにでわ玄のます。州でせ。ん回1多
ようおせ関。玄。のす。ん回1多
と博りて口才。関博がほ2駅は
してのま神しルと。駅装移118
いる町る地て九し。の今装回し、開
様活武の責任け意開業4場
で気家再もで気業4場

よう島1触ど
うル1れん博
事ト3さたく多
で、開1てとい
少業2きつは
し向日まは
博向のた。こ
多けの九。祭
をの州。り
振お新今
り返祝幹回
つい線は
て号鹿2
みと児0か

ニュー博多

出会い感動

よ一姿がが例る一氣ののい
う日は皆雀え鳥番候。音ろ朝
にをいたれたの今はい、未
も生かつちばち早なり時季ろ未
見きにせで小の起り分節なだ
える抜もいる。な中き一はに音日
。た陽太。健。雀静エつ聞出前
の力が線なも群だ。ンも。妙て仕
叡全る一供ら。事務い。変。場
を身東のにのくを所ら化。に
っ浴空並よ、訪のな。し。い
てびをんう人ね周いてくも
いる今向だな間てり位くそ、
る日く雀のにくののそ、

春の声



祝も多やをし化グ岡わわあ
・明のす繰て(口のるっあ
博町事りも博一。地、つこ
多のが返ら多。バで、てれ
駅なる景出すう文ル暮変く
なる気が来一。化化ら。す
事良ばか。に。を。博多
祈く願のり。外中喜多し
てりう日。日。人。歴。も
おり。同好本。光。ある。感
ますの。時。き。へ。の。に。日
。ら、を。旅。体。本。日。た
し博増行感文。福

月の満ち欠け



3/5(土) 新月
3/13(日) 上弦
3/20(日) 満月
3/26(土) 下弦

ある調査に拠りますと、死亡事故に関しては、新月、満月の時期に集中しているという…。私の長年の代理店経験でも、明らかに自動車事故は新月、満月の日に多いのです。いつにも増して安全運転を。

を2いわ かの迎と事た子りだ 行す滴ちをてのののキ表
届0気ず新なちのえるる務玄。穩な今年水りのは感、よ少ヨ的
け1持か年と社るころ所。にの関昨や。なと年のつ木じ太うしと
て1ち3度思会準。にのの軒戻か感の様のけきのる陽な冷。音
く年で力もつも備雀もよ先つ春てじ相てそ茂よう昇節たいなん
れの頑月目もし順しやよにににににににににににににににに
る春張しの前、う。いるに春てくま、ても。朝。の。を。る。め。届。中。美
のはらか前、う。いるに春てくま、ても。朝。の。を。る。め。届。中。美
で皆な経、う。いるに春てくま、ても。朝。の。を。る。め。届。中。美
しさをた新。う。いるに春てくま、ても。朝。の。を。る。め。届。中。美
よんれぬし。う。いるに春てくま、ても。朝。の。を。る。め。届。中。美
うにば間い。う。いるに春てくま、ても。朝。の。を。る。め。届。中。美
かどとに年。う。いるに春てくま、ても。朝。の。を。る。め。届。中。美
。ん誓ま明。う。いるに春てくま、ても。朝。の。を。る。め。届。中。美
な。う。いるに春てくま、ても。朝。の。を。る。め。届。中。美
景。う。いるに春てくま、ても。朝。の。を。る。め。届。中。美
た。う。いるに春てくま、ても。朝。の。を。る。め。届。中。美
新。う。いるに春てくま、ても。朝。の。を。る。め。届。中。美
から。う。いるに春てくま、ても。朝。の。を。る。め。届。中。美
。し。う。いるに春てくま、ても。朝。の。を。る。め。届。中。美

暫くすると春の訪れを感じさせる代

情報宅急便

「花見」



■花見の起源

花見は奈良時代の貴族の行事が起源だと言われています。奈良時代には中国から伝来したばかりの梅が鑑賞されていましたが、平安時代に桜へと変わってきました。その存在感の移り変わりは歌にも現れており「万葉集」において桜を詠んだ歌は40首、梅を詠んだ歌は100首程度ですが、平安時代の「古今和歌集」ではその数が逆転します。また「花」と言えば桜を意味するようになったのもこの頃からです。

吉田兼好の「徒然草」には貴族風の花見とそうでない田舎風の花見の違いが説かれており、室町初期には地方の武士階級にも花見の宴は行われていたことが伺えます。

花見の風習が広く庶民に広まったのは江戸時代、徳川吉宗が江戸の各地に桜を植えさせ、花見を奨励したためといわれています。江戸で著名な花見の名所には愛宕山(港区)などがあります。

■花見の現状

日本国内における桜の花見と言えば、ソメイヨシノを対象としているところが多いですが、全国のほとんどのソメイヨシノが寿命を迎えているといわれています。ソメイヨシノは種子では増えず、全て人の手で接ぎ木で増やしてきたものですので、現在多くの公園などで植え替えが行われています。

◇桜にまつわることわざ

日本人にとって「花」といえばまず「桜」を思い浮かべる方も多いのではないのでしょうか。「花見」にちなんで桜にまつわることわざをご紹介します。

●「花より団子」

見て美しい桜の花よりも、おいしくて腹のふくれる団子のほうがよい。風流よりは実利のほうがよい。外観より内容をとるという意味。

●「三日見ぬ間の桜」

たった三日間見ない間に、つぼみであった桜は満開になってしまい、満開の桜は散ってしまう。物事の状態がわずかな間にどんどん変化する。また、この世のはかないことをいう。

●「明日ありと思う心の仇桜」

桜は明日もまだ美しく咲いているだろうと安心していても、その夜中に強い風が吹いて散ってしまうかもしれない。人生もそれと同じで、明日にはどうなるかわからないから、頼みにしてはいけない、という世の無常を説いた戒め。

東京海上日動情報宅急便より

損害保険・生命保険に関する、
疑問・質問ございましたら、
お気軽にご連絡ください！(スタッフ一同)

有不二越総合保険事務所

〒811-2304 福岡県糟屋郡粕屋町花ヶ浦1-13-20-102

TEL 092-939-5788 FAX 092-939-5799

H/P <http://www.fujikoshi-hoken.jp>

E-mail info@fujikoshi-hoken.jp

事故対策 ワンポイント アドバイス



今回は飲酒運転について考えて行きたいと思います。先日糟屋郡で発生した飲酒運転死亡事故をご存知の方も多いかと思います。自動車保険を扱うものとして、一番悲しくて残念な事故である事は言うまでもありません。5年前に福岡市東区香椎で発生した飲酒死亡事故に引き続き、また子供が被害者となりました。今現在福岡県は、飲酒運転事故ワースト1位という残念な結果となっています。

この5年間で自分の周りの飲酒運転撲滅に対し、何が出来たかを一人一人真剣に考えなくてはならない時期かと思っています。自分はしていないからという考えが、ひょっとして周りの誰かを見過ごしているのかも知れません。「飲酒運転は犯罪です」その言葉は誰を守る為なのか、是非皆さままで考えて頂ければと思います。

小川明彦

立ち読み・ななめ読み

★運命を拓く

著者: 中村天風 価格: 1,748円 ※お客さまからの紹介本

日本の哲学者天風が自らの人生を通じ習得した知恵を与える。運も成功も健康も全て心の動きによる。積極的に生きてよりよい人生を実現せよと。

★最高齢プロフェッショナルの教え

著者: 徳間書店取材班 価格: 1,470円

その道の「最高齢者達」の生き方は興味深いです。各自のエピソードなども交え仕事観がよく表現されています。「仕事に飽きたことはないねえ。次から次へと改善したいことが出てきて、96歳になっても時間が足りないよ」「早く成長したければ苦しい仕事に自ら向かっていくしかない」「休むことがあっても、また、走り出せばそれでいい。ずっと走り続ける人間なんていないんだから」など。

スタッフの声 ~石内 伸幸~

3月に入り、いよいよ九州新幹線が全線開通です。自宅の窓から、新幹線を見ることができ、試運転中の少し青みがかった車体を何度か見かけワクワクしました。

私ごとですが、鉄道好きの息子や鹿児島県出身の義理の父と乗車の約束をしており、計画を練っているところです。九州新幹線全線開通をきっかけに、人の交流が活発となり、博多の街、福岡の街、九州全体が盛り上がるのを期待しています。

